

吉 監 第 1 3 号
令和3年8月20日

吉備中央町長 山 本 雅 則 殿
吉備中央町議会議長 難 波 武 志 殿

吉備中央町監査委員 河 内 是 純

吉備中央町監査委員 黒 田 員 米

財政援助団体等監査の結果について（報告）

地方自治法第199条第7項の規定により、財政援助団体等監査を実施したので、同条第9項及び第10項の規定により、別紙のとおり報告します。

財政援助団体等監査報告書

第1. 監査の対象

地方自治法第199条第7項の規定により、監査の対象は令和2年度中に町が財政的援助を与えている団体（以下「財政援助団体」という。）とし、次の団体を対象とした。

財政援助団体

- (1) 吉備高原イノベーションヒルズ協議会
- (2) イノベーションヒルズ株式会社
- (3) 認定NPO法人サラブリトレーニング・ジャパン

第2. 監査実施日及び場所

令和3年7月12日（月）

国際イノベーションセンター会議室（旧ニューサイエンス館）

認定NPO法人サラブリトレーニング・ジャパン事務室

第3. 監査の範囲

補助対象事業の運営及び事業に係る出納その他の事務の執行に関すること。

第4. 実施した監査の手順

対象課に対し、事前に補助金現況調書、補助金交付要綱、交付申請書、実績報告書等書類の提出を求め、所管課長、担当職員及び財政援助団体から説明を求めるなど、吉備中央町監査基準、令和3年度吉備中央町監査計画及び監査実施計画に基づき監査した。

第5. 監査の結果

財政援助団体に係る監査の結果は、別紙「監査の結果」に記載のとおりである。

財政援助団体を所管する課においては、今後とも関係する法令、条例、規則及び要綱等に定める手続きに従い、適正な事務処理に努めると共にマニュアル等の作成による事務の可視化及び補助金交付申請額の積算根拠となる資料の提出を求め、補助事業の内容を精査する体制整備に努められたい。

また、財政援助団体に対し、補助金交付の目的及び条件に従って事業を実施するよう指導するとともに、その結果を自主的に評価し、次年度に反映させることによって目的が早期に達成されるよう、積極的に指導されたい。

吉備中央町地方創生推進交付金事業補助金

1. 財政援助団体の名称及び代表者

吉備高原イノベーションヒルズ協議会 会長 山本 雅則

2. 財政援助の目的等

当該補助金は、地域経済の活性化及び地域における雇用機会の創出を図ることを目的とし、国際オープンイノベーションセンターの自立に向けた各種支援事業を実施する。

3. 補助金交付額等

補助金交付額	20,689,406円
申請年月日	令和2年7月13日
交付決定年月日	令和2年7月13日
交付年月日	令和2年8月5日、令和3年3月30日

4. 監査の結果

当該補助金に係る出納その他の事務は概ね適正に行われており、補助金の使途も目的に沿って使用されていると認められた。

【意見など】

令和2年度においては、情報発信と実証実験を実施した。実績報告書ではKPIを大幅に達成し、新たな動きも出てきたと評価された反面、いくつか懸念点も挙げられている。その一つ「町民から理解がない」、この点については正に指摘のとおりであり、機会をとらえて町民に理解してもらい、応援してもらえるようより一層努力されたい。また、「収益構造に不明瞭な部分が残っている」という気がかりな指摘については、解決に向けしっかりと取り組まれない。なお、今後協議会の形が変わろうとも、上記意見については後継組織へ引き継ぎ取り組まれない。

吉備中央町若者・空き家等活用・事業者支援事業補助金

1. 財政援助団体の名称及び代表者

イノベーションヒルズ株式会社 代表取締役 鈴木 肇

2. 財政援助の目的

当該補助金は、地元の若者の働く場の確保及び都市部の若者の還流を図るため、地域と連携して空き家などを活用して事業所を開設する事業者を支援する。

3. 補助金交付額等

補助金交付額	7,500,000円
申請年月日	令和3年2月22日
交付決定年月日	令和3年3月1日
交付年月日	令和3年3月25日

4. 監査の結果

当該補助金に係る出納その他の事務は概ね適正に行われており、補助金の使途も目的に沿って使用されていると認められた。

【意見など】

自走支援のための町からの補助金は、令和3年度末をもって打ち切られる。まだまだ乗り越えなければならない壁もあろうが、一般社団法人吉備高原オープンイノベーション協会は勿論、引き続き町との連携を保ち、一日も早い構想の実現、そしてこの取り組みが、税金投入の意味を正しく理解した上で、交通問題や少子高齢化問題など、今町が抱える多くの課題解決にも結びつくことを期待する。

吉備中央町特定非営利法人支援補助金

1. 財政援助団体の名称及び代表者

認定NPO法人サラブリトレーニング・ジャパン 理事長 角居 勝彦

2. 財政援助の目的

当該補助金は、サラブレッドのセカンドキャリアを支援し、もって馬も人も癒されるリゾート空間の創出、新たな馬文化の創造及び活力ある地域の形成発展に寄与することを目的とする。

3. 補助金交付額等

補助金交付額	57,162,009円
申請年月日	令和2年7月9日～令和3年3月31日
交付決定年月日	令和2年7月9日～令和3年3月31日
交付年月日	令和2年8月5日～令和3年5月25日

4. 監査の結果

当該補助金に係る出納その他の事務は概ね適正に行われており、補助金の使途も目的に沿って使用されていると認められた。

【意見など】

令和2年度においては、コロナ禍で事業が思うように実施できない中で、22頭中18頭がセカンドキャリアを歩み始めるという成果を収めた。また、認定NPO法人に認定されたことにより一層個人なり企業からの支援が受けやすい環境が整った。今後、事業の幅が広がり、教育、観光振興、地域経済の活性化等にも寄与すると同時に、活動内容を全国は勿論、町民に対してもしっかりと広報し、本事業に対して興味を持ってもらい、町民のファンを育成することを期待する。